

# 夢をかたちに

令和 6 年度  
出水商業高等学校  
進路指導部  
進路便り  
No. 3 2024. 6. 13

**3年生の皆さんへ** **7月1日(月)**から各企業の求人票が、本校にも届き始めます。3年生の就職希望の生徒のほとんどが、それらの求人票のなかから、就職先を決定していくことになります。過年度の求人票を研究しておきましょう。

**7月5日(金)**には、今年度の**求人票の第1回目の公開**を行います。その際、多くの求人票のなかから、行きたい企業をスムーズに見つけることができるようにしておくためには、上述の過年度の求人票研究が必須となるわけです。

**7月19日(金)から8月2日(金)**の期間においては、3年生の全員を対象に**三者面談**が実施されます。これから就職試験・進学試験を受けることになる本人の進路に対する思いと、保護者の方のご意向をおうかがいするという大切な面談です。三者面談の当日になって、保護者の方が「そんな話、してなかったじゃない!」とおっしゃることがないように、自身の進路に対する思いをきちんと保護者の方に伝え、きちんと話し合いをしておくようにしてください。

**主に夏季休業中**の期間ですが、就職を希望する人は、必ず**応募前職場見学**に行くようにしましょう。これから勤務する企業を実際に見ることで、モチベーションを高めましょう。

**8月6日(火)・7日(水)【進学総合型選抜】/20日(火)~23日(金)**の期間は、**校内選考会**です。校内選考会とは、就職試験を受ける人(公務員を除く)および推薦を伴う進学試験を受ける人を対象とする校内における面接試験のことだと考えてください。対象生徒は、これをパスすることが出願をするうえでの前提条件となっています。万全の準備をして臨みましょう。

**9月5日(木)**以降、各企業による**応募書類受付**が開始となります。そのため、**8月下旬**には、応募に必要なすべての書類を担任に提出できるようにしておかなくてはなりません。

さて、ここで応募書類作成に関わる「本当にあった怖い話」を何点か紹介します。

- 〈その1〉履歴書を最後まで書いて確認したところ、「年齢」や「令和( )年」の記載を間違えていた。
- 〈その2〉履歴書を最後まで書いて確認したところ、記載にミスはなかったのに、所定の用紙ではなく、所定の用紙をコピーした別の紙に書いていることに気づいた。
- 〈その3〉「町」に「まち」とふりがなを書かなくてはならなかったのに、「ちょう」と記載してしまった。
- 〈その4〉住所が本当は「番」なのに、「番地」と記載してしまった。
- 〈その5〉「ビジネス計算実務検定2級」と書いた後に、検定の後ろに書くべき「電卓」の文言がないことに気づいた。
- 〈その6〉最後の文字まで書けたと思ったら、ペンがにじんでやり直しになってしまった。
- 〈その7〉夏休み中、担任に確認をお願いしようと思っていたら、天候不良で学校が開かなかった。

他にもありますが、このあたりで止めておきます。何が言いたいかというと、応募書類の準備には細心の注意が必要であるということ、簡単には仕上がらないということです。そして、必ず失敗は見つかります。失敗をリカバリーするためにはかなりの時間が必要ですので、とにかく計画的に動きましょう。

**9月16日(月)**から**採用選考開始**です。高校生活で培ったコミュニケーション能力を初めとする様々な能力を総動員して、内定を勝ち取ってください。丁寧な事前準備が求められますよ。

ここでまたまた、「本当にあった怖い話」採用選考篇を紹介します。

- 〈その1〉面接の際、控室での様子について指摘を受けた。面接以外の場面も見られていた。
- 〈その2〉昼食を出してくださった企業があった。面接の際に昼食をとっている際の様子を指摘された。やっぱり見られていた。

**さあ、内定・合格に向けて、いまできることをすぐやろう**

## 求められる人材になろう！

各企業の人事採用担当の方に、どのような人材を求めているかを尋ねてみました。

### ルールを守れる人・頑張ったことがある人・挫折経験のある人（印刷・製本業）

大型の機械を用いて、多くの人が連携して働く印刷会社の人事担当者の方は、「決められたルールを愚直に守れる人を採用したい。」とお話しなさっていました。その理由は、「印刷のルールをきちんと守らなかった場合、1分間で1千枚近くのスプリントが生じることがあるから」ということでした。

また、「頑張ったことがある人」や「挫折経験のある人」も求める人材として挙げられていました。経験から何かしらの学びを得たことのある人物を求めていることが見えてきますね。

### 人のために働ける人・人と会話が出来る人（宿泊業）

全国展開しているホテルチェーンの人事担当者の方は、求める人材として次のようにお話しされていました。「自分が輝くことばかりを考える人は、宿泊業にはあまり向かないのではないのでしょうか。人のために働ける人が向いている仕事ではないかと思います。」とのことでした。

高校生の皆さんに、初めて志望理由を書いてもらうと、たいていの場合、「自分のこと・自己実現」の話題に終始してしまいがちな印象があります。就きたい仕事は、「誰を幸せにするための仕事なのか」も考えてみましょう。

### 休まない人・向上心のある人・積極性のある人・人に話しかけられる人（アパレル業）

洋服やアクセサリーを扱う店舗に人材を派遣する企業の人事担当者の方は、第一の条件として「休まない人」を挙げていらっしゃいました。そして、接客の仕事であるため、「お客様に自ら話しかけられる人」でないと務まらないとのことでした。皆さんのなかには、人に話しかけられるまで待っているという人も多いのではないのでしょうか。話しかけることに苦手意識のある人は、ボランティア等を通じて、人と接する機会を多くもつようにしてみてもいいのでしょうか。

### 自分で考えて動ける人・欠席の少ない人（小売業）

様々な商品と取り扱う総合スーパーの人事担当者の方は、「自分で考えて動ける人」を求めていますというお話しをされました。売り場づくりを自分の創意で行うことができることから、「自分で考えて動ける人」に来てもらいたいとのことでした。

あわせて念を押された条件が、「欠席の少ない人」というものでした。けがなどによる入院など事情があれば考慮をしてくださるとのことでしたが、やはりこういった点は重要視されるようです。

### 一歩前に出ることが出来る人（小売業）

食品小売業の人事担当者の方は、「一歩前に出ることが出来る人」に来てもらいたいとおっしゃっていました。同じ仕事であっても、自身なりの工夫をすることのできる人を評価したいとのことでした。これはすなわち、与えられたものをただこなすような姿勢では通用しないということでもあるのではないのでしょうか。常日ごろより目的意識をもって行動するようにしたいですね。

### 傾聴力のある人・間（ま）を空けすぎることのない人（小売業）

食品を主力商品とするスーパーマーケットの人事担当者の方は、「傾聴力のある人」を求めているということでした。お客様から様々なことを尋ねられた際に、きちんとお話を聞いて対応ができないと困るからという理由でした。そして、お客様から尋ねられたことに対して、求められる回答を即座に行うことのできる人、言い方を変えれば、「間（ま）を空けすぎることなく答えられる人」であってほしいとのことでした。

普段、「話を聞いていない」と指摘をされている人はいませんか。自分の話をする前に、相手の話をさえぎるようなことをしていないかを振り返ってみましょう。

様々な業種の人事担当者の方のお話を聞いて、あらためて認識することができたことがあります。それはどのようなことかというところ、**当たり前前**のことを**当たり前前**にできる人材を企業は求めているということです。当たり前前であることを当たり前前のように、日々の生活を見直し、進路実現を達成してくれることを期待しています。